

自転車減速帯



3年土木科

桶谷魁 川島隼志 栗原克哉

坪川颯汰 中居隼士 野澤蓮 藤田祥喜

1. 目的

The number of traffic accident were increasing by bicycles after beginning the school.

In our school, we looked for a dangerous place to prevent accidents.

Then, on the road in front of tennis court many students did not slow down.

The purpose was to create a deceleration zone dedicated to bicycles.

コロナによって休校明けから登校するまでの自転車による交通事故が相次いだ。

本校でも自転車による事故を防ぐために私達は本校の敷地内に危ない場所があるか探した。

すると、校門前は生徒指導の先生が交通指導されているため徐行を行っているがテニスコート横の通学路は道路に通行する際、徐行をしていない生徒が多くいた。車の通りも多少ある中で事故を起こしてしまう可能性があると思い、自転車専用の減速帯を作ることを目的とした。

2. 研究の概要

(1) 調査

放課後テニスコート横の通学路で道路に侵入する際、徐行あるいは一旦停止をしている生徒がどれだけいるのかを調査。(図.1)

(2) 実験

いろいろな実験をもとに減速帯の高さ、幅、スパンを決めた。(図.2)

(3) 減速帯設置

アスファルトで高さ5cm、幅30cmの減速帯を特定の場所に施工。(図.3)



図.1通学路



図.2幅の実験



図.3減速帯の施工

3. 課題研究のまとめ

減速帯を設置したことにより減速する人が増えた。減速帯が設置されていないスペースを通る人がいたため減速帯自体をもう少し長くすればよかった。施工時、アスファルトの習性を金沢市建設業協会から学んだ。就職して役立つ良い経験ができ、自分の体験したことのない作業を行うことができ、有意義な時間や経験を過ごすことができた。安全運転を心がけましょう。

